

広陵町ホームページリニューアルに向けたサウンディング型市場調査 結果の公表について

広陵町ホームページリニューアルについて、民間事業者との対話を通して市場を把握するとともに、諸課題を整理するため、広く意見・提案を求めるサウンディング型市場調査(以下「調査」という。)を実施しましたので、その結果を公表します。

1 実施概要

【スケジュール】

実施要領の公表	令和5年7月13日(木)
参加申込み期限	令和5年8月3日(木)
サウンディングの実施	令和5年8月8日(火)

【参加事業者】

サウンディング参加申込み	5事業者
サウンディングの実施	5事業者

2 結果概要

以下のとおりご意見がありました。

1 検索性を向上させる機能・デザイン
<ul style="list-style-type: none">・記事数が多いので、カテゴリからたどるよりは、サイト内検索を有効活用できる仕組みが必要。・カテゴリの分類を減らす(10個程度)。6個以上になると一括で判断できない。・レスポンス対応すべき。・見たい情報をトップに置く。・業者なのか、一般の方なのか等、見る人によって入口を整備する。検索前に見つける仕組みが必要・現在のホームページは3カラムのレイアウトで、検索デバイスがPCが主流だったころのデザイン(3カラム)から変わっていない。現在はスマホ中心のデザインが主流(1カラム)・トップページのバナーを作る人が異なると、統一感がなくなってしまい、見にくくなる。・ホームページ利用者のペルソナを設定し、コンテンツの誘導を分析する。・スマホでの閲覧が7~8割、スマホでの見やすさがメイン・現在のホームページは7年前(スマホがメインではなく、PC検索メインの時代)のレイアウトのため、それぞれの編集が必要・スマホであれば、メニューの中に折りたたむ。(PCでもメニューの中に格納するようにしている傾向)

- ・よく検索されるワードをトップページにも掲載する。
- ・トップページから、各メニューでたどりつくようにアクセスする人は1割程度しかいない。検索エンジンから複数検索でページにたどりつく人が大半である。
- ・現状の利用者がどのようにアクセスしているのか、どの分野やどの記事にアクセスが多いのかを分析する必要がある。
- ・町としてどのような情報を出したいのかを明確にすることが大切

2 アクセス数を向上させるコンテンツ

- ・アクセスが多いのが決して良いわけではない。ホームページは困りごとがあればアクセスするものであり、アクセスしないのは困りごとがないということである。
- ・Google検索した際の見出しや概要で大まかな内容が分かるため、適切な情報を発信するマークアップをするのが大切。
- ・イベント情報（場所や内容等）を一つのページで表示させる。
- ・ユーザーがトップページをカスタマイズできるような仕組みを導入する。
- ・Google Discoverを活用し、ユーザーに情報が入る仕組みを導入する。
- ・インスタグラムやFacebookなどのSNSと連携する。
- ・住民が興味ある内容を調査し、関心度の高いものからコンテンツを作成する。
- ・住民の方からイベントや飲食店などの情報を発信できる仕組みを導入する。
- ・プレスリリースやSNS等で広陵町の話目を認知させる必要がある。
- ・スマホやウェブアクセシビリティに対応する必要がある。
- ・ブロック入力を正しくすることで、Googleが検索しやすくなる。LGドメインを使う方が検索の上位となる。
- ・アクセスが多いから良いのではなく、見たい情報に早くたどりつくのが大切である。
- ・観光サイトを公式ホームページのサブサイト（子サイト）として別デザインで公開する。また公式ホームページとは別で運用する場合は、LGサブドメインで公開する。

3 職員が簡易に操作できるシステム

- ・Power CMSを使っている。古いCMSでなければ職員も簡易に取り扱える。
- ・Elementorを使用する。ウィジェットを組み合わせることでページを簡単に構成できる。
- ・自社CMSは自治体専用で出しているのので、機構改革やアクセシビリティにも対応している。
- ・記事の古いもの、リンク切れを検索できる。また削除するものについて通知することも可能。
- ・LGWAN-ASPでの使用が可能
- ・災害や選挙時等、緊急用に切り替えを容易にすることができる。
- ・WordPressを使用する。

<ul style="list-style-type: none"> ・職員様への操作研修をしっかりと行う。 ・自社CMSではプレビューから編集できるようになり、イメージがしやすくなっている。
4 図書館ホームページのリニューアルについて
<ul style="list-style-type: none"> ・蔵書検索とサイト本体は町ホームページと結合すべきであり、広陵町図書館単体でホームページを作成する必要がないと考える。 ・自習室の混み具合等も分かると便利である。 ・スタッフのおすすめの本を公開する。 ・トップは緑中心の配色、図書館ページはオレンジ中心の配色等、ページを色分けすることで、利用者がどのエリアにいるかがわかりやすい。
5 イニシャルコスト及び維持管理コストの最小化の方策
<ul style="list-style-type: none"> ・不要な機能を削減することでイニシャルコストを抑える。また自治体クラウドを使うことで維持管理コストも抑えることができる。 ・WordPressやテンプレートを使用することでイニシャルコストを削減することができる。
6 付加価値として提案可能な業務
<ul style="list-style-type: none"> ・事業者の独自提案となりますので、非公開とします。
7 他の地方自治体における同様の業務実績
<ul style="list-style-type: none"> ・事業者を特定できる情報のため、非公開とします。
8 公募時に開示して欲しい資料等
<ul style="list-style-type: none"> ・アクセスが多いページ ・現在使用しているCMSの機能一覧及びネットワーク構成 ・コンテンツカテゴリーごとのページ構成のサイトマップ ・何を子サイトとして搭載する予定か。
9 事業を受託するに当たり、現段階で本町に要望する事項等
<ul style="list-style-type: none"> ・現在のCMSや記事エクスポート形式・方法 ・プロポーザルで発注して欲しい。 ・審査員に事業の内容を熟知しておいてほしい。 ・町が目指したいポイントは仕様書に全て落とし込んでほしい。 ・ウェブアクセシビリティを向上させることを盛り込んでほしい。 ・運用管理コンサルティングの提供（月1回程度の運用委員会を開催し、課題を有・解決）